

令和5年4月 吉野町教育委員会定例会議 会議録

日 時：令和5年4月19日（水）午後2時00分～ 場 所：町中央公民館4F 教育長室
出席者：吉野町教育委員会 教育長 教育長職務代理者 委員2名 欠席 1名
事務局 4名

1. 開会挨拶
2. 審議案件

議第1号 後援名義の申請について…【資料1】

- ① 「全国縦断チャリティ祭り in 津風呂湖」関西支部
質疑応答・異議なく、全会一致で承認。
- ② 「第60回道徳教育研究会」奈良県会場
質疑応答・異議なく、全会一致で承認。

議第2号 令和5年度地域学校協働活動推進員の委嘱について…【資料2】

質疑応答・異議なく、全会一致で承認。

議第3号 令和5年度生涯学習振興の指針と重点（案）について【資料3】

委員：盛りだくさんな中身と丁寧な説明でよくわかった。企画準備が大変だがよろしくお願いしたい。

委員：吉野町の教育や社会的な活動はコロナの影響はあったが、活性化して動き出している。CSへ向かう動きがある。以前は地域の人が自分のためにやってきたことが学校教育の中で進められている。地域が子ども達を育てる方向にある。ボランティアにとって良い事がどのように学校地域に影響があることがわかる。高齢化していることも事実、組織化し見える形にすることで若い世代に繋いでいける。

教育長：人口減少と高齢化が進み、いろいろな団体や組織も世代交代が悩み。吉野町は文化的な意識が高いが、マンパワーが少ない、少しずつ光を当てて視野を広げていく。子どもにより影響を与えられるとともに、大人も活躍の場が出来ればよい。生涯学習の大切な部分、やりがいや生きがいにつながればよい。

委員：あまり表に出てきていない人がいる。既存の組織と自然と融合できれば良い。人形劇のフェスティバルがあったが、県内に3団体しかない。前から築いてきたものと若い力を融合するのが大事、若い人たちが活躍できる場を。

教育長：自分たちのやっていることを意識することが大切。認識すれば周囲との関係性が見えてくる。ビューロー・ゲートウェイなども同じような事を行っているところもある。自分たちの活動を整理して交わる、そうなってほしい。

議第4号 令和5年度給食費の免除について【資料4】

昨年10月から継続。承認されれば今週中に家庭に配布する。

委員：値上げする市町村が多い中、ありがたい。

教育長：岸田総理も無償化をうたっているが、吉野町は手厚い。

委員：吉野町以外の郡内の状況は？

事務局：大淀町は値上げ、もともと無償のところもある。

教育長：PRして欲しい。ホームページでも

議第5号 令和5年度吉野町立学校園の訪問について【資料5】

質疑応答・異議なく、全会一致で承認。

3. 報告案件

報第1号 令和5年度 教育委員会事務局事務分掌等について…【資料6】

委員：クラブ活動の説明は教育委員会ですか？

事務局：教育長・次長・山本補佐でさくら学園の参観後に説明させていただく。現状と今年度のスケジュールと制度についての説明を行う。

教育長：学校だけでできることではない。枠組みづくりは教委で、学校の思いと指導者マッチングを行う。まずはカヌーから2番3番は協議していく。

委員：人材の確保が大変である。

事務局：カヌー艇庫の方々にお手伝いを求めていく。新任の金光さんも経験者。指導の資格等を取得してもらう予定。

委員：事務分掌について、説明を聞いたが、職員の数は減ってきているのか？

事務局：次第に減ってきている。生涯学習課もスポーツ推進室が出来たこと、カヌーのことなど変遷がある。

委員：全体的に減っているように感じる。コロナの事で淘汰したことなどは表ではわかりにくい。

事務局：仕事を精査したいが難しい。

教育長：事務量が増え、追いついていないのが現状。できるだけ精査しやめる勇氣も必要。

委員：働き方改革するにはやめる勇氣もいる。逆に一般の方をお願いすることもしていく。負担が大きくなると次に向かう力が生まれにくい。

委員：さくら学園のメディアセンターを一般開放されることを望んでいる人がいる。

教育長：地域のメディアセンターへという思いはあるが、今年度はわからない。学校全体の理解がある。最終的にはそのような方向性になったらよいと思うが、見守ってほしい。

事務局：QRコードを読み取ってほしい。ホームページはみんなで発信していく。

教育長：文字より写真を載せていく。写真等で気軽に投稿できるように。情報発信が下手だという認識がある。あちこちに広めていってほしい。

4. その他事項

次回の日程調整 5月22日月曜日 午後2時00分～ 町中央公民館4F 教育長室

5. 閉会挨拶